

富士フイルムグループ  
サプライチェーンにおけるCSRの取り組みへのご協力をお願い

2026年5月

富士フイルムホールディングス株式会社

ESG推進部

## 1. 富士フイルムグループについて

---

## 2. 富士フイルムグループのサステナブル調達活動


---

## 3. 富士フイルムグループサプライヤー行動規範ならびにサステナブル調達ガイドライン

---

## 4. お取引先様へのお願い事項

---



## 1. 富士フイルムグループについて



富士フイルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、  
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

## 誠実かつ公正な事業活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献すること

わたしたちは、経済的・法的責任を果たすことはもとより、

1. グローバルおよび地域のさまざまな**環境・社会課題**を認識し、事業活動をとおしてその**解決に向けた価値を提供**していきます。
2. 私たちの事業プロセスが**環境・社会に与える影響**を常に**評価**し、その継続的な**改善**を進めるとともに、社会に**ポジティブな影響**を広めていきます。
3. ステークホルダーとの**コミュニケーション**をとおして、社会の**要請や期待**に適切にこたえているか、私たちの活動を常に**見直し**ていきます。
4. **積極的に情報開示**を進め、企業の**透明性**を高めます。



グループパーパス

### 地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

#### Sustainable Value Plan 2030

事業を通じた  
社会課題の解決

事業プロセスにおける  
環境・社会への配慮

企業行動憲章に則った倫理行動

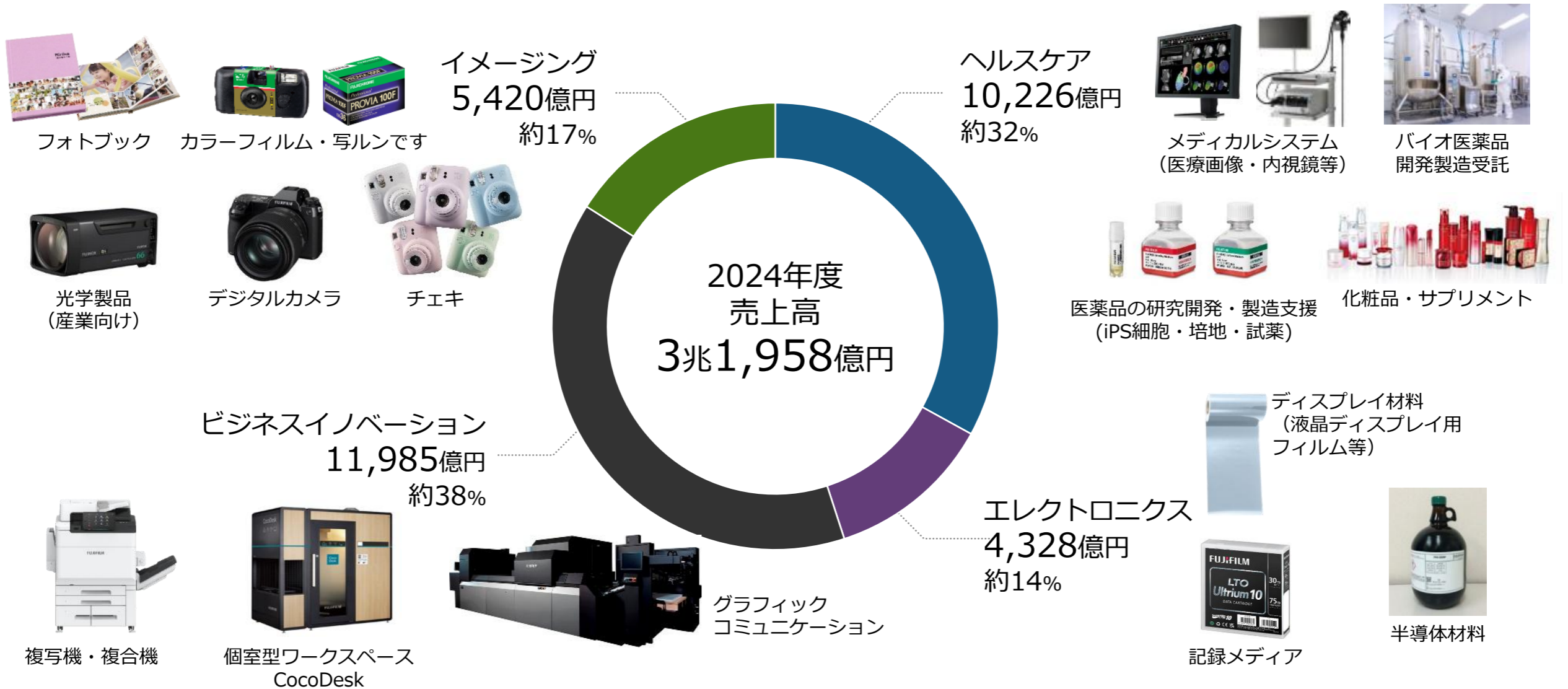
# CSR計画「Sustainable Value Plan 2030」



	事業を通じた社会課題の解決 貢献(機会)	事業プロセスにおける環境・社会への配慮 負荷(リスク)	富士フィルムグループが貢献するSDGsの目標
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 気候変動への対応</li> <li>2. 資源循環の促進</li> <li>3. 生物多様性の保全</li> <li>4. 製品・化学物質の安全確保</li> </ul>	●●●●	
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. アンメットメディカルニーズへの対応</li> <li>2. 医療サービスへのアクセス向上</li> <li>3. 疾病の早期発見への貢献</li> <li>4. 健康増進、美への貢献</li> <li>5. 健康経営の推進</li> </ul>	●●●●● ●(従業員)	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 安全、安心な社会づくりへの貢献</li> <li>2. 新たな感動・体験を社会に届ける 写真・映像文化の継承・発展 心の豊かさ、人々のつながりへの貢献</li> </ul>	●●	
働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 働きがいにつながる環境づくり (ソリューション・サービス提供)</li> <li>2. 多様な人材の育成と活用</li> </ul>	●●●●● ●(従業員) ●(従業員)	
事業活動の基盤			
サプライチェーン	環境・倫理・人権等のCSR基盤をサプライチェーン全体にわたり強化する		
ガバナンス	オープン、フェア、クリアな企業風土のさらなる浸透により、ガバナンス体制を改善・堅持する		

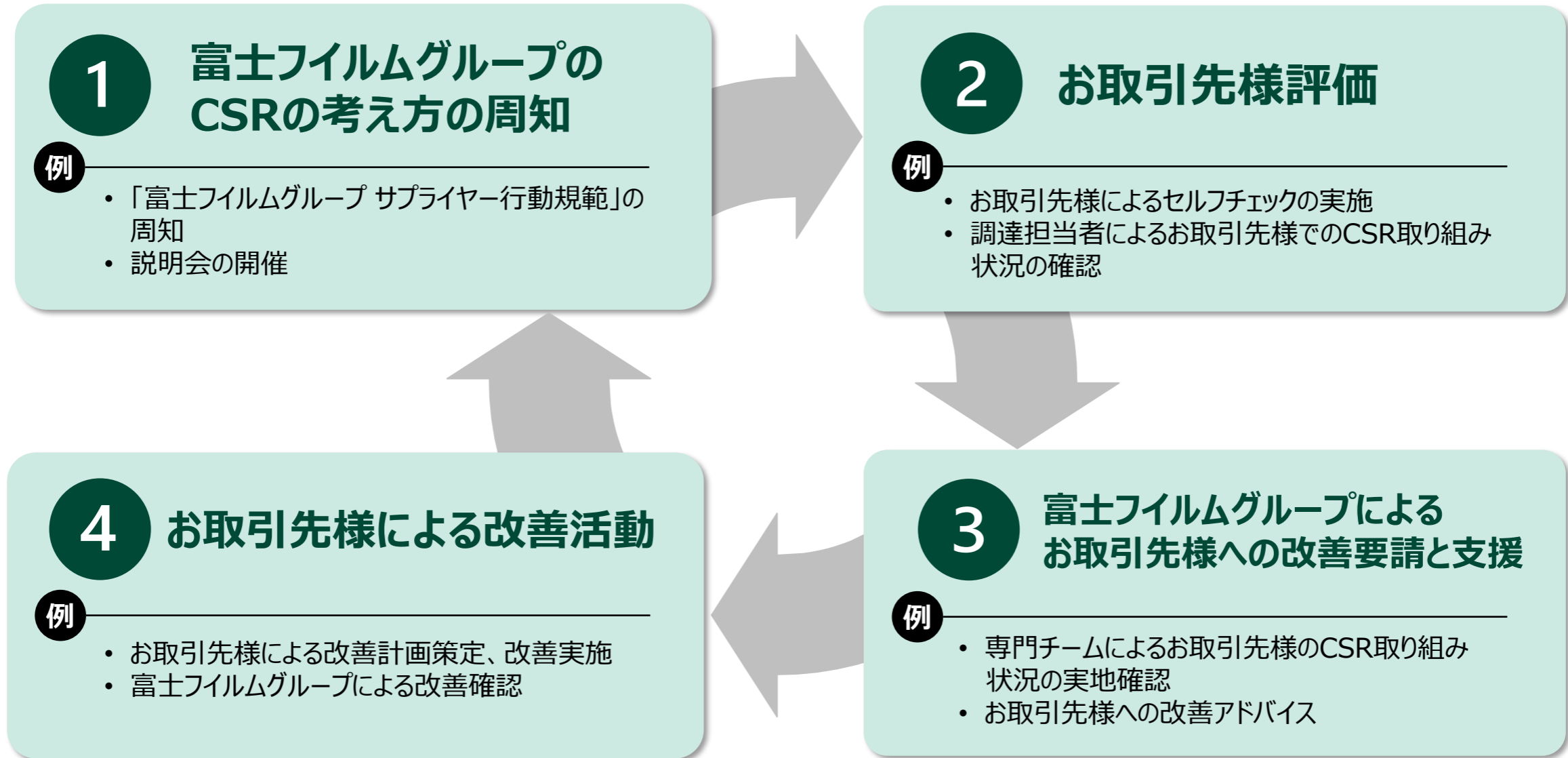
➔ サプライチェーンは富士フィルムグループの事業活動の基盤


# 富士フイルムグループの事業セグメント





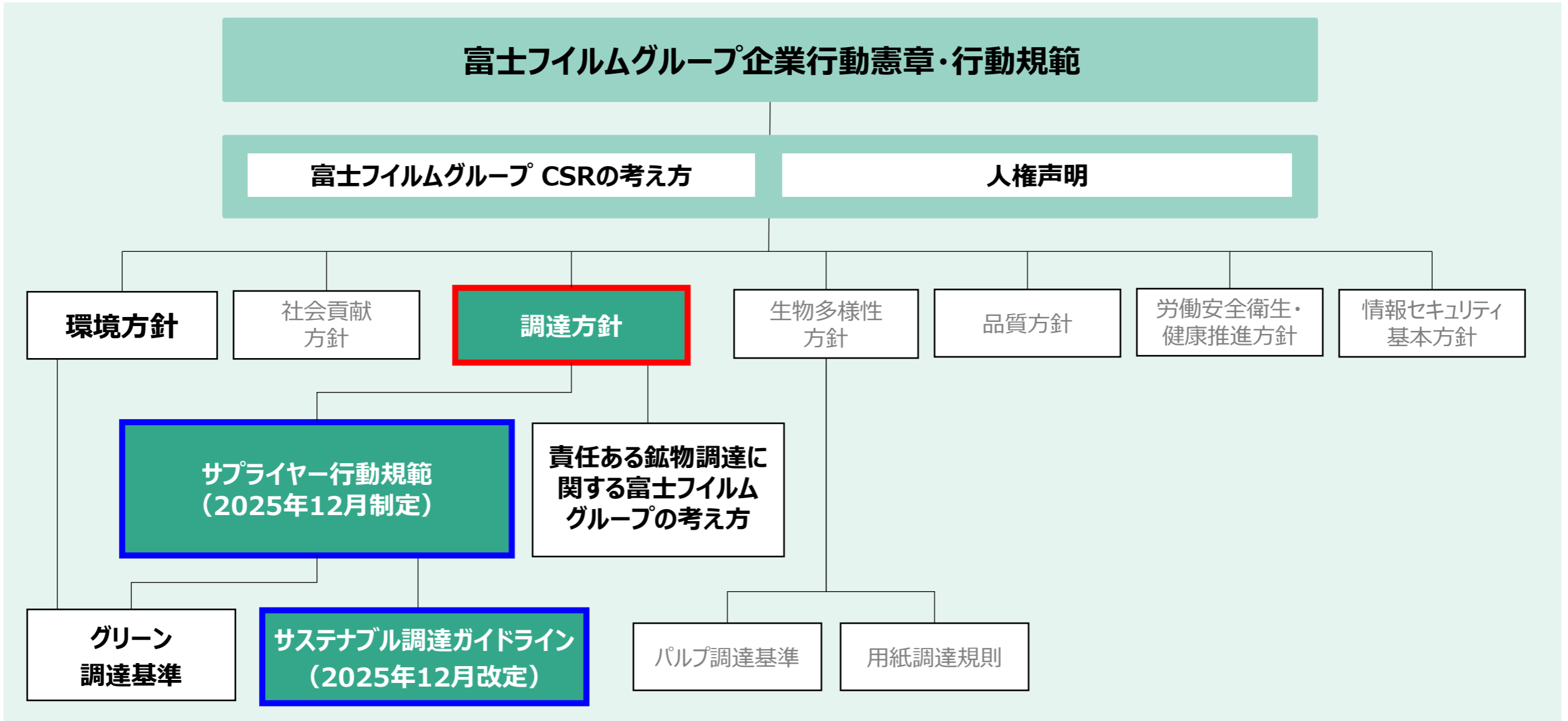
## 2. 富士フイルムグループ サステナブル調達活動





### 3. 富士フィルムグループ サプライヤー行動規範 ならびにサステナブル調達ガイドライン

### 3-1. 調達に関わる方針・ガイドラインの体系



### 3-2. 「富士フィルムグループ サプライヤー行動規範」の制定背景・目的（2025年12月新規制定）

富士フィルムグループは、**弊社グループに対して製品またはサービスを提供するすべてのお取引先<sup>\*1</sup>に、環境、人権・労働、安全衛生、企業倫理等、企業が社会的に果たすべき責任の重要性**を理解いただき、**共に課題解決を推進**していきたいと考えています

**国際的に認知されたRBA<sup>\*2</sup>行動規範に基づく  
「富士フィルムグループ サプライヤー行動規範」を制定**

**サプライヤーの皆様には、本規範の趣旨をご理解いただき、規範に沿った行動・実践をお願いいたします。**  
**また、皆様のお取引先に対しても、本規範の理解浸透および実践に向けた働きかけのご協力をお願いいたします。**

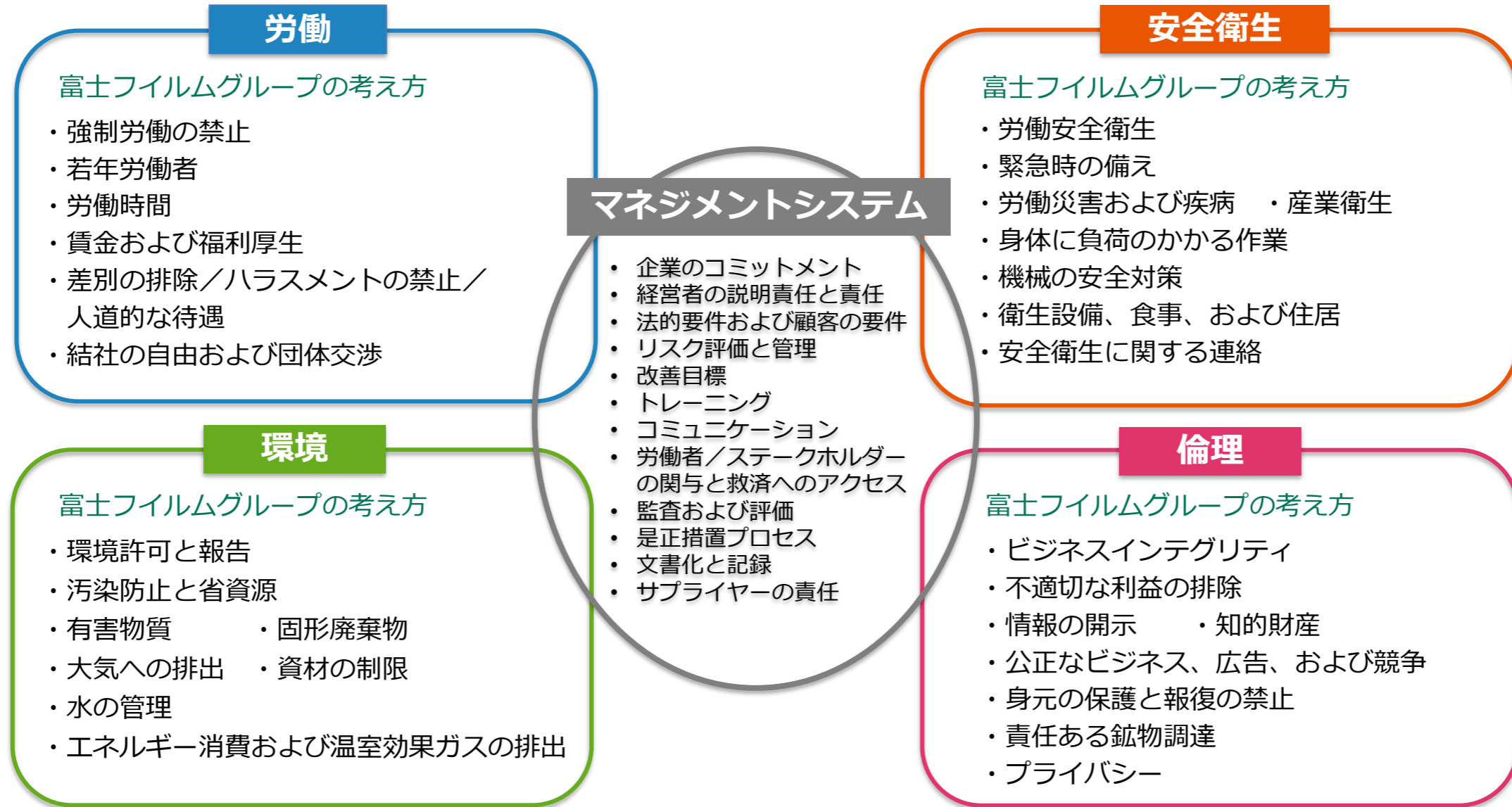
<sup>\*1</sup> 製品、部品、ソフトウェア類、包装、材料を製造、またはそれらの製造プロセスに関与するすべての取引先と委託先  
(生産委託先および警備会社などの間接的なサービス提供元も含む)

<sup>\*2</sup> Responsible Business Alliance (サプライチェーンにおける企業の責任ある事業活動を促進する国際団体)

◆富士フィルムグループ サプライヤー行動規範：<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/vision/policy/procurement#link04>

### 3-3. 「富士フイルムグループ サプライヤー行動規範」の内容

「RBA行動規範」に基づき、**労働/安全衛生/環境/倫理/マネジメントシステム**の5つのセクションにて構成



## A. 労働セクション：考え方および項目一覧

人権は、わたしたち一人ひとりにとって最も根本的かつ重要なものです。

富士フイルムグループは、労働者の人権を尊重し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、多様な人格と個性を尊重します。

NO.	項目
1	強制労働の禁止
2	若年労働者
3	労働時間
4	賃金および福利厚生
5	差別の排除／ハラスメントの禁止／人道的待遇
6	結社の自由および団体交渉

### 内容（例）

#### （４）賃金および福利厚生

労働者に支払われる報酬は、最低賃金、時間外労働、および法令で義務付けられている福利厚生に関連する法律を含め、適用される賃金に関するすべての法令を遵守していなければなりません。各国・地域における最低賃金の遵守はもちろん、健康で文化的な生活を営むための適切な賃金水準の確保に努める必要があります。

サプライヤーは、すべての労働者が、同一労働・同一資格に対して同一賃金を受け取れるように努める必要があります。

労働者は時間外労働に関して、通常の時給より高い賃率で支払いを受けなければなりません。

懲戒・懲罰処分としての賃金からの控除は認められません。

（以下略）

Pick  
Up

## 人権課題への対応

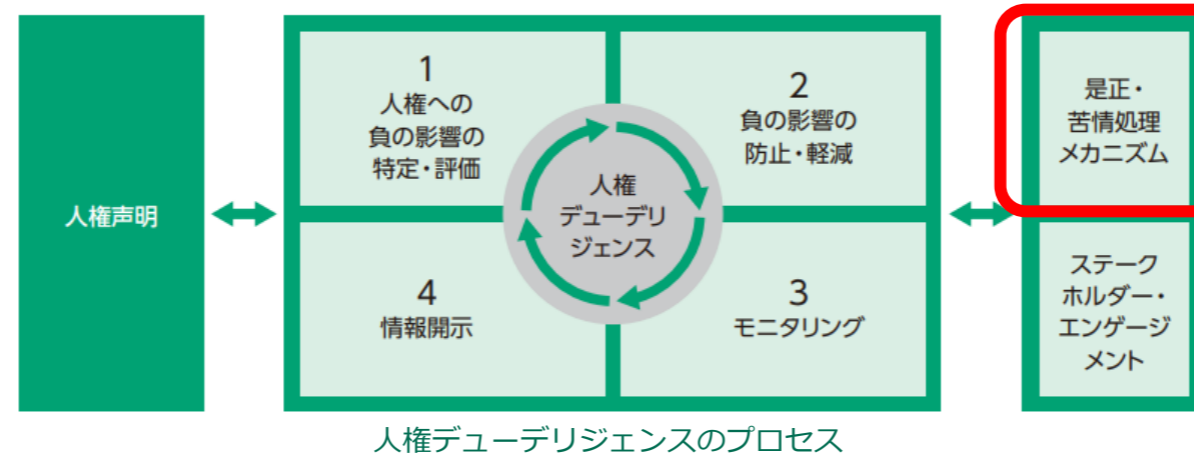
## ◆ 世界中でサプライチェーンにおける人権課題への意識・関心の高まり

強制労働等の人権侵害の懸念

法規制の新たな制定や強化

企業の事業活動やレピュテーションへの影響拡大

## ✓ 日々の活動であらゆる人権の尊重が必要



昨今、特に重要なのは  
「是正・苦情処理メカニズム」  
の整備

富士フィルムグループは、サプライチェーンにおける人権に関わる課題への対応強化を目的に、2024年よりJaCER\*に加盟

JaCERの支援を得て、苦情処理メカニズムにおける公平性・透明性のさらなる向上に取り組んでいきます

\*JaCER（一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構）：

人権の専門家の関与のもと、人権侵害に関する苦情・通報を受け付け、会員企業による苦情処理を支援するプラットフォーム

➡ <https://jacer-bhr.org/application/form.html>

## B. 安全衛生セクション：考え方および項目一覧

富士フイルムグループは、働く人々の安全確保と健康の推進が企業にとって最重要基盤であると考えています。責任ある企業として、安全で快適な職場環境の維持・強化を目指すことが大切です。

NO.	項目	内容（例）
1	労働安全衛生	<p><b>(8) 安全衛生に関する連絡</b></p> <p>サプライヤーは、<u>労働者の母国語または理解できる言語で、労働者が晒されるあらゆる特定済みの職場の危険（機械、電気、化学物質、火災、および物理的危険を含むがこれに限定されない）について、適切な職場の安全衛生に関する情報とトレーニングを労働者に提供しなければなりません。</u></p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>サプライヤーは、<u>すべての労働者に対し、実務の開始前に、それ以降は定期的にトレーニングを提供しなければなりません。</u></p> <p>労働者は、<u>報復を受けることなく安全衛生に関する懸念を提起することが奨励されます。</u></p>
2	緊急時への備え	
3	労働災害および疾病	
4	産業衛生	
5	身体に負荷のかかる作業	
6	機械の安全対策	
7	衛生設備、食事、および住居	
8	安全衛生に関する連絡	

Pick  
Up

## 労働安全への取り組み

富士フィルムグループは、「**労働安全は事業活動の原点である**」という考えのもと、安全最優先で従業員の労働安全の確保に努めるとともに、安全衛生関連の諸法令の遵守を徹底しています

グループ各社・各職場の特性に合わせた安全教育やリスク低減活動として、以下のような取り組みを行っています：

- 労使にて労働安全衛生委員会を設置し、定期的に安全衛生に関する労使協議を実施
- 労働安全衛生担当を任命し、チェックリストに基づく職場巡視点検
- 新たな作業をするとき、作業方法を変更するときの、**リスクアセスメントによる危険源の抽出と対策**
- 化学物質を取り扱う作業における、**化学物質のリスクアセスメントによる危険源の抽出と対策**
- 弊社独自の安全教育プログラム「**危険体感教育**」などの受講による、**従業員一人ひとりの危険感度や危険予知能力の向上**
- 一般的な労働安全衛生に加え、化学物質を使用する従業員および委託先従業員への化学物質取り扱い教育



危険体感教育

事業場における  
安全教育の取り組み例

危険予知感度養成

富士フィルム 労働安全衛生  
富士フィルム 化学物質管理



Pick  
Up

## 健康経営への取り組み

## 健康経営®※とは？

- ✓ 従業員等の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えのもと、**健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること**



安定した事業や取引の継続

従業員の活力や生産性向上  
などの組織活性化

富士フィルムグループは、お取引先様と共に健康経営に取り組み、事業を継続・成長させ、社会に貢献していきたいと考えています

## 富士フィルムグループ 健康経営宣言

富士フィルムグループは、社会に新たな価値を創造するリーディングカンパニーであり続けるために、従業員が心身ともにいきいきと働ける健康づくりを積極的に推進すること、そして「100年を生きる時代」の社会の人々に、生きる力、生きる楽しさを提供していくことを宣言します。

- **重点5領域（生活習慣病、がん、喫煙、メンタルヘルス、長時間労働）**におけるグループ共通の健康管理KPIを設定し、取り組みを推進
- 健康的な生活習慣を身につける「**富士フィルムグループ7つの健康行動**」を定めて、従業員の行動変容を図るべく、各施策を実施

健康経営に関するノウハウ等のお問い合わせ・ご相談先：  
富士フィルムホールディングス 人事部 健康推進グループ  
dgi-101-FH-health@fujifilm.com

◆「健康経営ガイドブック 健康経営優良法人認定事務局編  
2025年3月版」：<https://kenko-keiei.jp/5171/>

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です



- ① 週1回以上、体重をはかる
- ② 自分の健診結果を確認する
- ③ 週1日以上、お酒を飲まない日をつくる
- ④ 1日6時間以上の睡眠時間をとる
- ⑤ 平均30分/日以上歩く
- ⑥ 直近の歩活(あるかつ)にエントリーする
- ⑦ タバコを吸わない

富士フィルム 健康経営



## C. 環境セクション：考え方および項目一覧

富士フィルムグループは、環境課題への取り組みは企業の社会的存在と活動に必須の要件であることを認識しています。気候変動への対応、資源循環の促進、生物多様性の保全、化学物質の安全確保、地域の環境保全など、あらゆる環境課題の解決に向けて自主的、積極的に行動し、サプライチェーンにおいて他社とともに実現に取り組みます。

NO.	項目
1	環境許可と報告
2	汚染防止と省資源
3	有害物質
4	固形廃棄物
5	大気への排出
6	資材の制限
7	水の管理
8	エネルギー消費と温室効果ガス排出

### 内容（例）

#### （1）環境許可と報告

サプライヤーは、必要とされるすべての環境許可証（例：排出のモニタリング）、認可書、および登録書を取得・維持し、最新の状態で保持し、その運用および報告に関する要件を遵守しなければなりません。

（中略）

#### （8）エネルギー消費および温室効果ガスの排出

サプライヤーは、全社規模の温室効果ガス総量削減目標を設定し、富士フィルムグループの要請に基づき報告するものとします。

サプライヤーは、エネルギー効率を改善し、エネルギー消費および温室効果ガスの排出を最小限に抑える方法を追求しなければなりません。

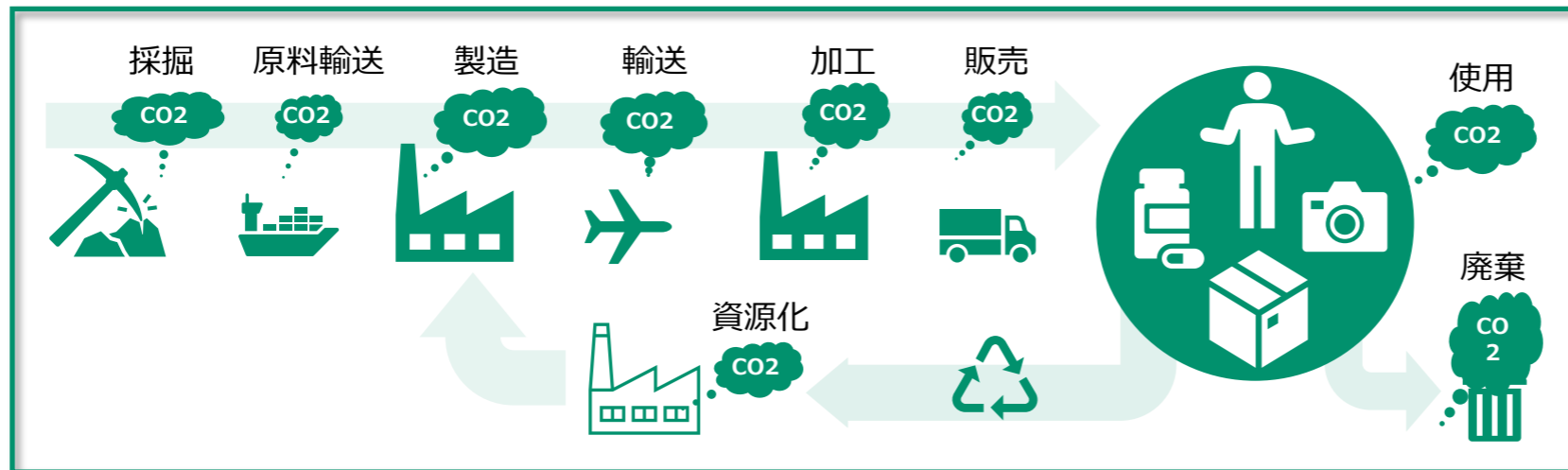
エネルギー消費ならびにすべてのスコープ1、2およびスコープ3の重要なカテゴリである温室効果ガス排出量を追跡し、文書化して、公表に努めるものとします。

Pick  
Up

## 気候変動対応への取り組み

富士フィルムグループは、気候変動問題の解決に向けた積極的な取り組みを継続していくことで、脱炭素社会の実現に貢献していきます

✔ 脱炭素社会の実現には、バリューチェーン全体でCO2排出削減に取り組むことが重要です



エネルギー使用量や  
CO2排出量の可視化

削減目標の設定

排出削減に向けた活動

情報開示

富士フィルムグループは、お取引先様のCO2排出削減の取り組みを支援します

## 排出量の可視化

Scope 1,2排出量算定支援

支援に関するお問い合わせ先：

ESG推進部 環境・品質マネジメントグループ  
shm-fh-esg-eqm-kanhin@fujifilm.com

## 排出削減に向けた活動

## 省エネルギー

- 国の支援制度などを活用し、企業間連携での取り組みを推進  
<https://shift.env.go.jp/outline>
- 国の支援制度活用に関する弊社の具体例：  
<https://shift.env.go.jp/files/participant/2024/sf05Hp6.pdf>

## 再生可能エネルギー導入

- 協業先を通じて、低コストでの再エネ電力の導入を提案  
<https://www.digitalgrid.com/>

## D. 倫理セクション：考え方および項目一覧

富士フィルムグループでは、「コンプライアンス」を「法律に違反しないということだけではなく、常識や倫理に照らして正しい行動を行うこと」と定義しています。サプライチェーンにおける事業活動のあらゆる局面において、他社とともにコンプライアンスを重視した取り組みを推進し、新たな価値創造に挑戦します。

NO.	項目
1	ビジネスインテグリティ
2	不適切な利益の排除
3	情報の開示
4	知的財産
5	公正なビジネス、広告、および競争
6	身元の保護と報復の禁止
7	責任ある鉱物調達
8	プライバシー

### 内容（例）

#### (1) ビジネスインテグリティ

すべてのビジネス上のやりとりにおいて、最高水準の誠実さをもって行動しなければなりません。

サプライヤーは、あらゆる種類の贈収賄、腐敗行為、恐喝、および横領を一切容認しない方針を保持しなければなりません。

(中略)

#### (7) 責任ある鉱物調達

サプライヤーは、製造する製品に含まれるタンタル、スズ、タングステン、金、コバルト、マイカの原産地と調達経路について、経済協力開発機構（OECD）の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのガイダンス」または同等に認知されたデューディリジェンスの枠組みに合致した方法で調達されていることを合理的に保証するための方針を策定し、デューディリジェンスを実施しなければなりません。

Pick  
Up

## 責任ある鉱物調達

## 紛争鉱物問題とは？

- 多くの工業製品に使用される鉱物の一部は、**人権侵害や環境破壊などを引き起こしている武装勢力の資金源**となることも
- **問題のある鉱物を間接的にでも調達し生産に使用すること**  
= “武装勢力に加担する行為”



## ✓ 企業の責任ある鉱物調達が重要

問題となる鉱物の  
使用状況の調査・開示

人権侵害の関与可能性が  
高い鉱物の使用を避ける

## 責任ある鉱物調達への法規制や改善要請の強化

- **コンゴ民主共和国（DRC）およびその周辺国で産出される3TG（スズ、 tantalum、 tungsten、 金）**には、問題の鉱物が多く含まれるため、米国は同国上場企業に対して、法律で3TGの使用状況の開示を義務付けています。
- 3TG以外の鉱物にも、同様の問題が報告されています。  
例) **コバルト、マイカ**・・・採掘現場における児童労働や劣悪な労働環境  
**リチウム、ニッケル、グラファイト(天然黒鉛)、銅**・・・採掘/製錬活動による環境汚染 等
- EU電池規則、EU企業サステナビリティデューデリジェンス指令（CSDDD）等の新たな法規制においても、適用企業に対し、鉱物の環境・社会リスクに関する調査やその結果の公表等が求められます。

富士フイルムグループは、鉱物の採掘や調達に関し、社会的な責任を認識し、公正な取引に取り組んでいきます

◆富士フイルムホールディングス「責任ある鉱物調達に関する富士フイルムグループの考え方」：  
<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/vision/policy/procurement#link02>

## E. マネジメントシステムセクション：考え方および項目一覧

本規範の内容に対応するマネジメントシステムを導入、または構築し、以下の事項を確保することが必要です。

- (a) サプライヤーの業務および製品、サービスに関連する適用法令、規制、および富士フィルムグループの要求事項の遵守
- (b) 本規範への適合
- (c) 本規範に関連した運用リスクの特定と軽減、および継続的改善の促進

NO.	項目
1	企業のコミットメント
2	経営者の説明責任と責任
3	法的要件および顧客の要件
4	リスク評価とリスク管理
5	改善目標
6	トレーニング
7	コミュニケーション
8	労働者／ステークホルダーの関与と救済へのアクセス
9	監査および評価
10	是正措置プロセス
11	文書化と記録
12	サプライヤーの責任

### 内容（例）

#### (4) リスク評価とリスク管理

法令遵守、環境安全衛生、労働慣行、情報セキュリティ、倫理などにおける、業務に関連するリスクを特定するプロセスを導入または確立すること。

特定されたリスクを管理し、規制の遵守を確保するために、各リスクの相対的な重要性を判断し、適切な手順による管理および物理的制御を実施すること。

(中略)

#### (12) サプライヤーの責任

本規範の要件をサプライチェーン上流のサプライヤーに伝達し、サプライヤーによる本規範または本規範に実質的に一致する要件の遵守状況やパフォーマンスを監視するためのプロセスを確立すること。

Pick  
Up

## 情報セキュリティへの取り組み ～経営課題として捉えた対応～

## ◆ランサムウェア等サイバー攻撃による被害が多数発生

取引情報・技術情報・個人情報の漏えい 生産や供給の停止

日本企業の3社に1社がサイバー攻撃を経験  
企業規模を問わず被害が発生

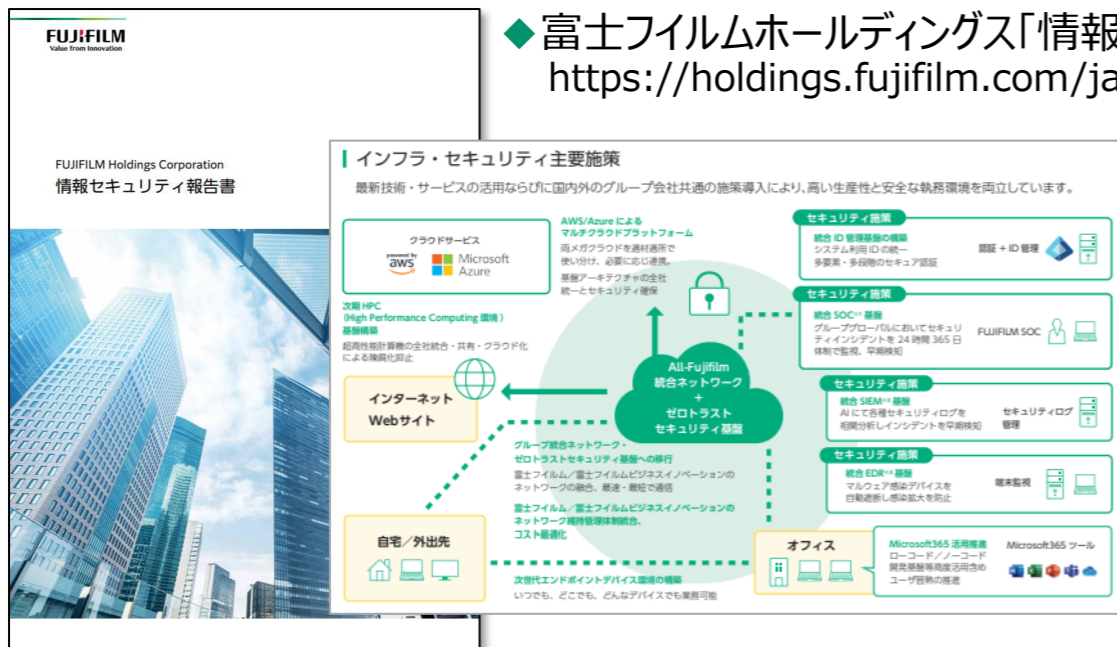
(令和7年は大手飲料メーカーや通販サイトで大量の個人情報の漏えいや製品供給停止被害が発生)

出典：サイバー攻撃に関する実態調査（2025年）/ 帝国データバンク

## ✔ サイバー攻撃へのセキュリティ対策強化が必要

情報セキュリティ対策に  
取り組むことを自己宣言IPA(独立行政法人情報処理推進機構)  
「SECURITY ACTION セキュリティ対策自己宣言」  
「サイバーセキュリティお助け隊サービス制度」「サイバーセキュリティ  
お助け隊サービス」の活用富士フイルムグループは、情報セキュリティを重要な経営課題と位置づけて取り組んでいます  
情報セキュリティ対策内容を情報セキュリティ報告書として公表していますので参考までにご覧ください

## ◆富士フイルムホールディングス「情報セキュリティ報告書」：

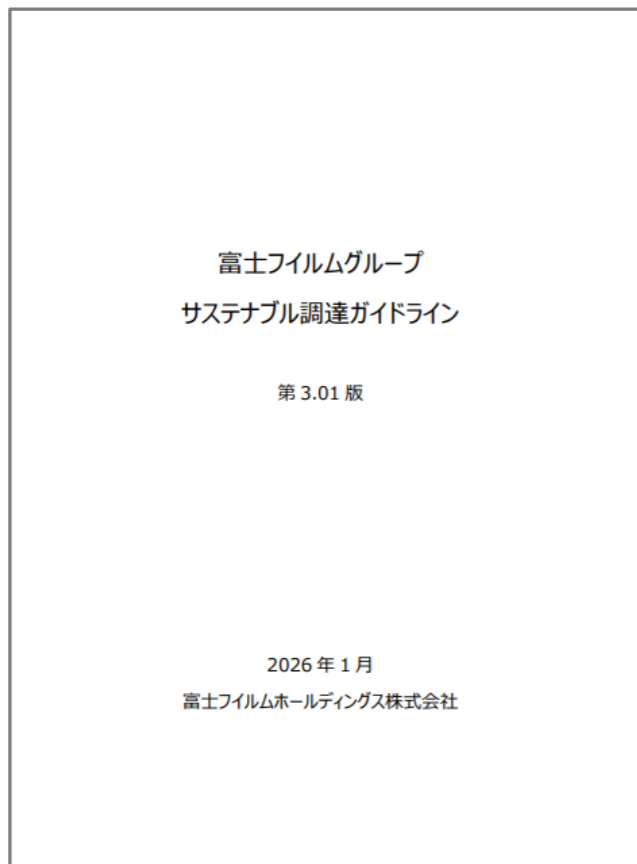
<https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/activity/governance/security>

## 参考となる情報セキュリティ情報

- ◆ 経済産業省「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」  
[https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/downloadfiles/guide\\_v3.0.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/downloadfiles/guide_v3.0.pdf)
- ◆ IPA[サイバーセキュリティ経営ガイドライン Ver3.0 実践プラクティス集]  
[https://www.ipa.go.jp/security/economics/hjuojm00000044dc-att/cms\\_practice\\_v4\\_1.pdf](https://www.ipa.go.jp/security/economics/hjuojm00000044dc-att/cms_practice_v4_1.pdf)
- ◆ IPA[中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン]  
<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/ug65p90000019cbk-att/000055520.pdf>

### 3-4. 「富士フィルムグループ サステナブル調達ガイドライン」(2025年12月改定)

お取引先様でのCSR推進に活用していただくため、「サプライヤー行動規範」の用語の解説や、自己評価のためのチェックポイントを「サステナブル調達ガイドライン」としてまとめています(2025年12月改定)



**(1) 環境許可と報告**

所在国の法令等に従い、必要とされる場合は行政からの許認可を受け、また必ず要求された管理報告を行政に提出する

サプライヤーは、必要とされるすべての環境許可証(例:排出のモニタリング)、認可書、および登録書を取得・維持し、最新の状態で保持し、その運用および報告に関する要件を遵守しなければなりません。

**<チェックポイント>**

- ・ 事業活動に必要なすべての環境許可証、認可書、登録書を把握している。
- ・ 取得した許可証等について、有効期限を管理し、常に最新の状態で保っている。
- ・ 環境許可に関連する運用基準を遵守し、適時適切に報告を行っている。

用語の定義や解説

具体的にどんな取り組みをしていただきたいか  
↓  
貴社の自己点検にご活用ください

◆「サステナブル調達ガイドライン」(第3版) : <https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/vision/policy/procurement#link01>

サプライヤー行動規範・ガイドラインの内容のご理解と実践へのご協力をお願いいたします




## 4. お取引先様へのお願い事項

## 4-1. 「富士フイルムグループ サプライヤー行動規範」の遵守と同意書の提出

- ✔ 弊社の「**サプライヤー行動規範**」の内容をご理解の上、実践に向けたご協力をお願いいたします
- ✔ 弊社グループから**同意書へのサイン**をお願いいたしますので、その際にご提出をお願いいたします
- ✔ 貴社のサプライヤーへのご共有、サステナブル調達強化に向けた働きかけをお願いいたします

富士フイルムグループ  
サプライヤー行動規範

---



3

[富士フイルムグループ会社名][部署名] XX 部御中

同意書


当社は、「富士フイルムグループ サプライヤー行動規範」の内容を理解しました。当社は、富士フイルムグループと取引を実施するにあたり、本規範の実践に向け協力いたします。

提出日	年 月
会社名	
部署名	
役職名	
責任者氏名	

本同意書に記載された個人情報は、富士フイルムグループの CSR コンプライアンス活動の目的にのみ収集し、富士フイルムグループの[プライバシーポリシー](#)に従って適切に取り扱います。

※2025年度より  
「富士フイルムグループ  
サプライヤー行動規範」  
に対する同意書に変更

## 4-2. CSRセルフチェックアンケートの回答および改善への対応

- 
 貴社のサステナビリティに関するお取り組み状況を把握するため、**セルフチェックへの回答や、その後のヒアリング、改善に向けたご対応**をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします

### セルフチェックアンケートについて

- 潜在リスクの一次チェック、ならびにサステナビリティに関する取り組みの重要性を再認識していただくことを狙いとして実施
- 人権・労働、環境、企業倫理、サプライヤー管理等のCSRリスク全般の設問
- 結果について弊社グループ各社よりフィードバックシートを送付。重要項目への不適合等が見られた場合、取り組みの実態や、改善に向けての課題等の把握のため、適宜ヒアリングを実施
- 2024年度は1,027社が回答

FY2025 富士フイルムグループ CSRセルフチェックアンケート		
No.	質問	質問の解説
人権・労働 (全34問)		
HL-01	次の要素をすべて含む人権方針を経営レベルで承認し、従業員が理解できる言語で明確に開示し、それを伝えていますか？ 1. 拘束労働・児童労働の防止 2. 不当な差別とプライバシー侵害の防止 3. 職場での暴力・性的虐待・セクハラ・過剰な懲罰の防止 4. 合理的な賃金の提供及び適正な労働時間・休日の管理 5. 労働者の団結権及び団体交渉権の保障	
HL-02	貴事業所に適用される人権関連の法律と規制を常に把握・遵守していますか？	
HL-03	雇用の際に、従業員（直接雇用または契約雇用）の身分証明書（例：パスポート）の原本を会社が保持・保管したままにしていますか？  ※「設問の解説」欄を必ずご確認ください	法令で義務づけられている場合を除き、労働者に公的な身分証明書・パスポート・労働許可証などの原本を会社が保持・保管したままにすることは、労働者の移動や退職を制限することとなり、強制労働につながります。会社が保管している場合は、労働者の求めに応じて速やかに返還する必要があります。 ※次のケースは問題ありません： ・従業員の意思で自由に取り出し可能なロッカーなどへ保管 ・本人確認のための身分証明書の"コピー"（原本ではない）を会社が保管

## 4-3. お取引先様へのお願い事項（まとめ）

---

### (1) 「富士フイルムグループ サプライヤー行動規範」の遵守と同意書の提出、貴社サプライヤーへの働きかけ

- ✓ 富士フイルムグループ サプライヤー行動規範の内容理解・実践
- ✓ 同意書へのサイン、提出
- ✓ 貴社のサプライヤーへの周知および内容理解・実践への働きかけ

### (2) セルフチェックの回答

- ✓ CSRセルフチェックアンケートへの回答、ヒアリングと改善に向けた対応

### (3) その他

- ✓ 各種調査へのご協力  
(CO2排出量等の可視化／調査、鉱物調査、情報セキュリティ調査 等)
- ✓ お取り組みの推進  
(人権デューデリジェンス、健康経営、CO2排出削減、責任ある鉱物調達、情報セキュリティ強化 等)

**引き続き、富士フィルムグループのサステナブル調達の取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします**

本活動に関するお問い合わせは、弊社グループ調達担当者、もしくは下記にて承ります

富士フィルムホールディングス（株）ESG推進部 SVP戦略グループ

メールアドレス：[ff\\_csr\\_contact@fujifilm.com](mailto:ff_csr_contact@fujifilm.com)

**サステナビリティに関するお問い合わせ**

環境、倫理・コンプライアンス、人権等に関わるお取引先様からのご相談、ご意見を下記ページにて受け付けています

 <https://holdings.fujifilm.com/ja/contact>



**一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構「JaCER」** ※

富士フィルムグループのサプライチェーンにおけるあらゆるステークホルダーを対象に、人権の侵害が疑われる案件に関する通報を受け付けています

 <https://jacer-bhr.org/application/index.html>

※非司法的な苦情処理プラットフォームである「対話救済プラットフォーム」を提供し、専門的な立場から会員企業の苦情処理の支援・推進を目指す組織

**FUJIFILM**  
Value from Innovation